

活動例 4

 「なかよくあそぼう」

(音楽 1 / 3 時間 算数 1 / 3 時間 国語 1 / 3 時間)

目標

音楽：友達と一緒に声を合わせて歌ったり、体を動かしながら音楽を聴いたりする学習に楽しんで取り組む。

算数：「いち」と「に」の数詞を知り、確実に数えることができる。

国語：読み聞かせを聞き、感じたことや分かったことを共有することができる。

児童の活動内容	教員の関わり
<p>活動①「曲に合わせて」(音楽)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「すうじのうた」を歌う。 ○ゲーム「貨物列車(じゃんけん列車)」で遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら体を動かすことができるようにする。 ・ゲームのルールを丁寧に説明するとともに、みんなで声を揃えて歌いながら体を動かすことができるようにする。
<p>活動②「1から5までの数②」(算数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○貨物列車で何人つながったか数える。 ○グループの人数を比べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとの人数をみんなで声を揃えながら数え、数を確認させる。 ・1対1対応の方法で人数を比べさせる。
<p>活動③「おはなしよんで」(国語)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○絵本「100かいだてのいえ」の読み聞かせを聞く。 ○絵本の内容について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動①や活動②と関連させ、児童と一緒に数を数えながら数に対する意欲を高められるような絵本を選ぶ。 ・教室に絵本コーナーなどを設置し、児童が自ら読書しようとする環境を整えておく。また、関連する絵本についての紹介も行う。

活動例5

 「がっこうだいすき」

(生活2時間)

目標

生活：給食が作られる様子を知ることを通して、学校生活に関わっている人や施設があることに気付くとともに、その人々に親しみ、よりよい学校生活を送ろうとする。

児童の活動内容	教員の関わり
<p>活動①「給食が始まるよ」(生活)</p>	
<p>○学校栄養士から給食についての話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どのようにして給食が作られるのか考えさせ、給食や給食を作る人々への関心をもたせるようにする。
<p>活動②「給食室へ行こう」(生活)</p>	
<p>○給食室へ探検に行き、給食室の様子を見学する。 <児童の反応例> <ul style="list-style-type: none"> ・いいにおいがするね。 ・大きな鍋の中に野菜がたくさん入っているよ。 ・何人で給食を作っているのかな。 ○教室に戻る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・給食室にあるものや調理員の様子に着目させる。 ・教師がタブレットを持って行き、給食室の様子を撮影しておく。 *給食センター方式の場合は、学校栄養士の協力のもと、事前に給食センターの様子を撮影させてもらう。 ・次の活動につなげるために、校内を見て回りながら教室に戻るようにする。
<p>活動③「振り返ろう」(生活)</p>	
<p>○給食室の様子を振り返り、見付けたこと、感じたことを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影した画像を大型モニターで映すことで、児童が振り返りやすいようにする。 ・学校生活を支えている人々の存在に気付かせることで、学級や学校の生活を自分たちで一層楽しくしようとする態度を育てる。

活動例6



「がっこうだいすき」

(図工2 / 3時間 国語2 / 3時間 生活2 / 3時間)

目標

図画工作：給食室の様子を思い出しながら、絵で表現することができる。

国語：紹介したい内容について、声の大きさに気を付けて伝えることができる。

生活：学校生活が人や施設によって支えられていることについて考えることができる。

児童の活動内容	教員の関わり
活動①「こんなこと発見」(図工)	
<p>○給食室で見付けたものを思い出しながら絵で表現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・思い出しやすいように、教師が撮影した画像を大型モニターで映す。
活動②「みんなに伝えよう」(国語)	
<p>○描いた絵をみんなに紹介する。</p> <p>紹介するときの話型例 「わたしは、○○を描きました。」 「これは、△△のときに使います。」 「わたしは、□□と思いました。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・何について描いた絵なのかが分かるように話すように伝える。 ・声のものさしを提示し、声の大きさに気を付けて話すように伝える。 ・発表する際の話型についての指導をする。
活動③「学校生活について考えよう」(生活)	
<p>○みんなの絵を見て、気付いたことを発表する。</p> <p>○給食室にあるものや働いている人について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介した絵を黒板に貼り、絵を見ながら気付いたことを発表させる。 ・学校生活が人や施設によって支えられていることに気付かせる。

活動例 7



「運動場には何があるかな」

(生活 2 / 3 時間 体育 2 / 3 時間 算数 1 / 3 時間 特活 1 / 3 時間)

目標

生活：学校の中にあるものに関心をもって関わり、思いや願いをもって施設を利用しようとする。

体育：運動遊びに進んで取り組み、決まりを守って場の安全に気を付けることができる。

算数：数詞を順に対応させて唱え、最後の数でもものの個数を表すことができる。

特活：遊具の使い方等について理解することができる。

児童の活動内容	教員の関わり
活動①「運動場の遊具で遊ぼう」 (体育)	
○運動場の遊具を使って、体を動かす。	・決まりを守り、安全に気を付けて運動遊びさせる。
活動②「運動場にあるものを数えてみよう」 (算数)	
○運動場にあるものを観点や条件に応じて仲間分けをする。 (鉄棒、ブランコ、砂場、一輪車…)	・同じ種類の物が複数個ある場合でも、仲間分けでは一つとして数えることを伝える。
○運動場にあるものについて、「いち」…「ご」の数詞を知り、数える。	・数えることが苦手な児童には、教師が共に指さしながら数える。
活動③「遊んだことや見付けたものをみんなに話そう」 (生活)	
○運動場で遊んだことや見付けたものについて話し合う。	・仲良く遊ぶことのよさ、遊具の役割について話し合わせる。
活動④「遊具の使い方について話し合おう」 (特活)	
○運動場の遊具の正しい使い方について話し合う。	・正しい利用方法が安全に使うことにつながる点に気付かせる。
活動⑤「運動場の遊具で遊ぼう」 (体育)	
○運動場の遊具を使って、みんなで体を動かす。	・決まりを守り、安全に気を付けて運動遊びさせる。

活動例 8

 「どうぞよろしく」

(国語 1 / 3 時間 図工 2 / 3 時間 生活 2 / 3 時間 算数 1 / 3 時間)

目標

国語：自分の名前を書くことができる。

図画工作：自分の好きなものを思い浮かべながら絵で表現することができる。

生活：名刺交換を通して、友達と関わることのよさに気付くことができる。

算数：数詞を順に対応させて唱え、最後の数でもものの個数を表すことができる。

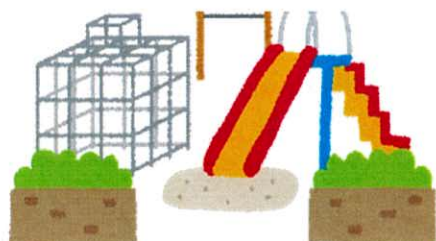
児童の活動内容	教員の関わり
活動①「自分の名前を書こう」(国語)	
○名刺に自分の名前を書く。	・鉛筆の正しい持ち方を指導する。
活動②「自分の名刺」(図画工作)	
○自分の好きなものや好きなことを思い浮かべ、自由にかく活動に関心をもつ。	・自分を紹介するために何を描けばよいか考えさせる。
○自分の好きなものの形を考えたり、色を選んだりして描く。	・クレヨン、パス、色鉛筆などの使い方についても指導する。
活動③「名刺交換をしよう」(生活)	
○名前を伝える話型を確かめ、名前の他に伝え合うことを決める。	・好きな食べ物や遊びなどを考えさせる。
○名刺交換をしながら、いろいろな友達と自己紹介をし合って握手をする。	・教室の中を自由に移動させて、名刺交換できるようにする。
活動④「名刺の数を数えてみよう」(算数)	
○「いち」…「ご」の数詞を知り、確実に数える。	・数字カードを提示し、数を数えるようにする。
○1 から 5 までの数について、名刺と数字を互に対応させる。	・交換して自分がもっている名刺の数を数えさせる。

目標

特活：グループで楽しく遊ぶことができる。

生活：グループで探検に行きたい場所を話し合っで決めることができる。

児童の活動内容	教員の関わり
活動①「グループで遊ぼう」(特活)	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 4人程度のグループを作る。 ○ 作ったグループでグループ遊びをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・じゃんけんゲーム ・しりとりゲーム ・質問ゲーム etc 	<ul style="list-style-type: none"> ・近くの席同士で生活班を作るよう声かけをする。 ・簡単なグループ遊びをすることで、生活班の児童のつながりを深め、グループによる学校探検が楽しく活動できるようにする。
活動②「もっと行きたい」(生活)	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 校内にある気になった場所を出し合う。(職員室、校長室、音楽室、理科室、他学年の教室…) ○ グループで行きたい場所を話し合っで選ぶ。 ○ 探検に行く順番を話し合っで決め、探検カードに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内を見て回ったときのことを思い出させ、探検への意欲を高めるようにする。 ・教師からもおすすめの場所を提案する。 ・探検は2回行うことを伝え、数カ所を選ぶようにする。 ・うまく順番を決められないグループには教師が助言する。(2年生に助っ人をお願いすることも考えられる。)





目標

生活：グループで計画したことを基に、学校探検に取り組むことができる。

児童の活動内容	教員の関わり
<p>活動①「学校探検のルールを確認しよう」(生活)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○グループで学校探検をするときのルールを考える。 (廊下は右側を歩く、大きな声を出さない…) ○全員でルールを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで楽しく安全に探検をするために必要なことを考えさせる。 ・黒板に書いたルールを声を揃えて読み、確認させる。
<p>活動②「グループで探検①」(生活)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○探検カードを見て、探検に行く場所を確認する。 ○グループごとに学校探検を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・部屋に入るときは、きちんと挨拶をしよう。 ・お話を聞かせてもらったら、お礼を言おう。 ・困ったときは、近くの先生に声をかけよう。 ○探検を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・探検の視点をもたせるようにする。 (探検した場所にあったもの、友達に教えたいこと、出会った人など) ・円滑に探検が進むよう、事前に他の職員に協力を依頼しておく。 ・探検の様子を教師が画像や動画で記録しておき、発表活動に活用できるようにする。 ・上手にできたこと、できなかったことを振り返らせ、次の探検につなげるようにする。



**目標**

生活：学校での生活は様々な施設が関わっていることに気付くことができる。

国語：紹介したい内容について、声の大きさや話す速さなどを工夫して伝えることができる。

児童の活動内容	教員の関わり
<p>活動①「みんなに伝えよう」(国語)</p> <p>○聞いている人がわかりやすいように、どのような話し方の工夫ができるか考える。</p> <p>○自分が調べた学校の場所について発表する。 また、友達が伝えたいことは何か考えながら発表を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大事なところは大きな声でゆっくり話すなど、話すときに工夫できることに気付かせる。 ・ 友達が伝えたいことは何かを考えながら聞かせる。 ・ 発表する場所が学校のどの場所にあるかについて説明する。 ・ 事前に I C T 端末で児童が発表する場所を撮影しておき、教室のモニターに映す。
<p>活動②「分かったことや思ったことを伝え合おう」(生活)</p> <p>○話し合いの進め方について、教師のモデルを見て確認する。</p> <p>○友達の発表を聞いて分かったことや思ったことを伝え合う。</p> <p>○互いの発表で良かったと思うことについて伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ どのように話し合いを進めるかについて、教師がモデルを示す。 ・ 友達の話を関心をもって聞いていたことが分かるように、内容について質問したり、共感を示したりするよう声かけをする。 ・ 発表の良かったところを中心に話し合いをすることで、学習に対する意欲や自信をもたせる。

活動例12



「タブレット端末を使って春を写真に撮ろう」

(生活1・1 / 3時間 特別活動2 / 3時)

目標

生活：春の写真を撮る中で自然のすばらしさに気付き、自然を大切にしようとする。

特活：学校のタブレットの使い方について、みんなが気持ちよく使うために気を付けることを話し合い、実践しようとしている。

児童の活動内容	教員の関わり
活動①「タブレット端末でカメラを使ってみよう」(生活)	
<ul style="list-style-type: none"> ○家庭で考えてきた端末のパスワードをタブレットに入力する練習をする。 ○カメラの起動の仕方や、撮影した写真の確認方法を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キーボードの入力等は一文字ずつ拡大掲示等で示して視覚的な支援を行う。 ・タブレットの取扱の注意点について、丁寧に説明し理解させる。
活動②「春を探して写真にとろう」(生活)	
<ul style="list-style-type: none"> ○校内で春を感じられるものを探して、見つけたものを写真に撮る。 ○学習支援ツールを使って、撮影した写真をクラウド上に提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真に撮るだけでなく、なぜ春を感じると思ったのか等、そのよさも考えておくように伝える。 ・大型掲示装置などを使って、児童が操作方法を理解しやすいようにする。
活動③「学校タブレットの使い方について考えよう」(特活)	
<ul style="list-style-type: none"> ○学校から借りているタブレットや机、椅子などの使い方について気を付けることを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合った内容が後の児童の生活に生かせるように、具体的な行動とそれを振り返る方法についても話し合わせる。

目標

算数：ものとものを対応させることによって、ものの個数を比べることができる。

生活：春の校庭で遊ぶことの楽しさに気付くとともに、春の自然の特徴を生かして楽しく遊ぼうとする。

児童の活動内容	教員の関わり
活動①「見つけた春を仲間分けしてみよう」(算数)	
<p>○校庭で見つけた春の自然を仲間分けする。</p> <p>(ダンゴムシ、タンポポ、レンゲソウ…)</p> <p>○写真ごとに対象物の数を数えて、数量の多少を比べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に撮った写真を見せながら、校庭で見つけた春の自然を思い出させる。 ・教師が撮った写真も活用する。 ・写真に○を付けながら数を数えさせる。
活動②「春と遊ぼう」(生活)	
<p>○校庭に出て、見つけた春の自然を使って遊ぶ。</p> <p>(草花遊び、虫取り…)</p> <p>○片付けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園等で遊んだ経験を想起させながら、活動を進める。 ・使った物を片付けたり、作ったものを自分で管理したりすることが大切であることに気付かせる。





目標

生活：植物に心を寄せ、大切に育てていこうとすることができるようにする。

算数：1～10の数について、大小を比較することができる。

道徳：生命の大切さについて考える。

児童の活動内容	教員の関わり
活動①「そだてよう」(生活)	
<ul style="list-style-type: none"> ○種あてクイズをする。 ○幼稚園等で植物を育てた経験を伝え合う。 ○植物を育てるときに気を付けたいことについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な種類の種を準備し、どのような花が咲くのかをクイズにして示し、植物を育てることへの興味を高める。 ・これまでの経験を思い出させ、それをもとに話し合わせる。
活動②「10までのかず」(算数)	
<ul style="list-style-type: none"> ○グループを作り、アサガオの種を使って、数を数える。 ○自分と友達の種の数比べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの人数分の数の10までの種がランダムに入った袋を渡し、種の数を見せさせる。 ・グループでそれぞれの種の数比べるようにする。
活動③「たねをまこう」(生活)	
<ul style="list-style-type: none"> ○記録カードに活動の様子を記録する。 ○鉢に土を入れ、アサガオの種をまく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・種をまく前の様子とそのときの気持ちや思いを絵や文字で記録させる。 ・種のまき方の手本を示す。
活動④「たいせつないのち」(道徳)	
<ul style="list-style-type: none"> ○アサガオの種をまいたときに感じたことを伝え合う。 ○生命の大切さについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・熱心に世話をしている児童の様子を写真で見せ、どのような思いで世話をしているのかを考えさせる。 ・植物にも命があることに気づき、生命の大切さについて考えさせる。

